



第4回北区まちづくり懇話会 意見交換会 (WS)



平成30年5月15日

第4回北区まちづくり懇話会

日 時 平成30年5月15日（火）
14時00分～16時00分

場 所 北区役所2階第2～4会議室

出席者 懇話会委員11名
《ワークショップ参加者》
地域担当職員4名、総務企画課1名
大学生4名

内 容

意見交換会（ワークショップ）

- 1班および2班
『誰もが楽しく集い、
『笑顔』が広がる「場」の創出』
- 3班および4班
『健康の大切さを知り、
お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

これまでの北区まちづくり懇話会の 意見からみえてきたまちづくりの方針

方針1

『誰もが楽しく集い、
『笑顔』が広がる「場」の創出』

- イベントを通して繋がりや輪を広げる
- 良好なコミュニティ形成には「笑顔」が必要
- 地域のリーダーシップをとれる人材の育成が必要
- 若い世代を取り込み、多世代、地域間の情報共有のためにSNSを活用

方針2

『健康の大切さを知り、
お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

- 高齢者の見守りは積極的に進める
- 子育て世代などの若い世代の健康づくりや情報交換の場の充実
- 地域のリーダーシップをとれる人材の育成が必要
- 若い世代を取り込み、多世代、地域間の情報共有のためにSNSを活用



めざす区の姿

ず〜っと住みたい
“わがまち北区”

■ワークショップ

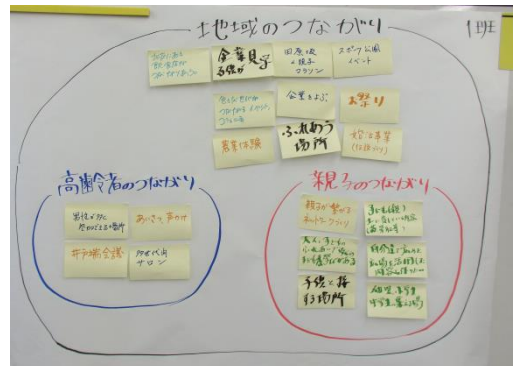
1班：『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

【実現に向けたキーワード】

『つながり』を大事にする

【実現に向けて必要なこと】

- ・「地域のつながり」の中の、高齢者同士のつながり（井戸端会議、サロン、普段の声かけ、男子会）、親子同士のつながり（親子のふれあい、幼児・小学生・中学生が集える場所）をそれぞれに大事にする。
- ・地域にある企業見学を実施することで企業と地域がお互いを知ることができる。また、企業同士もつながりあうことが大事。
- ・顔の見える地域づくりは、安心・安全なまちづくりにつながる。



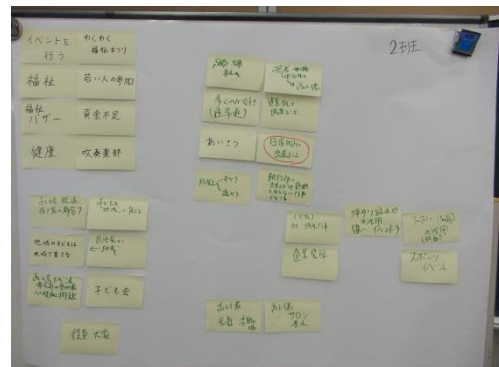
2班：『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

【実現に向けたキーワード】

『日常的な地域のつながり』

【実現に向けて必要なこと】

- ・地域でのイベント開催は大事であるが、イベントを運営する上で参加者の年齢の偏りや資金不足等の問題もあるので、イベントのときだけでなく、普段からのつながりを大事にする。
- ・日常的な地域のつながりを深めていく。
- ・若い世代と高齢者の交流を行っていく。
- ・若者（中高生）が高齢者にスマートフォンやSNSの使い方を教える機会を設けるなどして、交流をしながらSNSも活用していく。



3班：『健康の大切さを知り、 お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

【実現に向けたキーワード】

『地域への参加』『おせっかい』

【実現に向けて必要なこと】

- ・若者が地域に入ってこないなど、地域のつながりの希薄化が心配される中で、地域で何回も会うことで会話を増やし、相手を知り、地域へ参加する。
- ・地域へ参加するために、いろいろな人を地域に引き入れてくれるようなおせっかい人・力を創出する。



4班：『健康の大切さを知り、 お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

【実現に向けたキーワード】

『交流を持ちたい』『おせっかいをしよう』『健康でありたい』

『情報を共有したい』

【実現に向けて必要なこと】

- ・世代にあった情報発信・共有の仕方を考え、時と場に応じて、口コミ、SNS、回覧板等を活用する。
- ・祖父母世代が孫の世代を誘って地域活動に参加させるなどして、多世代交流を図り、地域のコミュニケーションを深める。
- ・各地域で行っている運動のイベントの参加者を増やすよう努めたり、運動しやすい環境を作る。
- ・老人会で食事を作ってみんなで食べる機会を設けている地域もあり、そのような機会を増やして食事の大切さを知る機会をつくる。



■ 会長講評

今回のワークショップでのキーワードについては、「つながり」、「絆」、「連帯」ということだった。

また、まちづくりといっても、「まちづくりの概念の範囲が広い」「話し合う人の年代によって考え方が違う」「地域によってそれぞれ特色がある」ため、話し合うこと自体難しい。だが、今回、皆さんで話し合うことで、他の地域や仕事、分野について新たな発見をしながら、考えることができたと思う。

日常においても、他の人のことをよく知ることから、つながりが生まれる。そのつながりを大事にしながら、「ず～っと住みたい“わがまち北区”」につなげていきたい。